

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書24章14-27節 (新約聖書49頁)

「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。早速、五タラント預かった者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。同じように、二タラント預かった者も、ほかに二タラントをもうけた。しかし、一タラント預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。まず、五タラント預かった者が進み出て、ほかの五タラントを差し出して言った。『御主人様、五タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』次に、二タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、二タラントお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って

来たとき、利息付きで返してもらえたのに。さあ、そのタラントンをこの男から取り上げて、十タラントン持っている者に与えよ。

タラントン

タラントンとは通貨の単位です。英語のタレントの語源です。タレントは「才能」と訳されますが、タラントンはご主人（神様）から預けられた「賜物」という意味です。

例えばブラスバンドはトランペット、パーカッションなどに、合唱ではソプラノ、アルトなどに、演劇は主演、助演などに分かれまゝ。運動もペアや団体で競技します。

それぞれ役割がありますが、誰が上手で下手かではなく、どれだけお互いの持っているものを引き出し、分かち合うかです。競争ではなく、互いの賜物を生かし合うかです。

実は1タラントンは6000デナリオン、1デナリオンは1日の賃金、生活費です。換算すると1タラントンは約16年弱分の報酬です。1タラントンは神様から与えられた命です。

（しばらく黙祷しましょう）

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。あなたはすべての人に尊い命を与えられました。どうか互いに賜物を分かち合い、神様の愛を実現し、共に感謝できますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの時を過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン